

# 令和2年度「自己評価報告書」

社会福祉法人愛護会  
第二東水沢保育園

## 1. 保育目標

- 健康で明るい子ども
- 豊かな心を持つ子ども
- 自分のことは自分でできる子ども
- 他人のことを考え、物事に疑問を持つ子ども
- 何故だろうと考え、物事に疑問を持つ子ども
- 自然に親しみ、愛することができる子ども
- 人の話をしっかり聞き、自分の意思を言葉で話せる子ども

## 2. 施設運営の重点課題

- 保育内容の充実
- 地域社会資源の積極的活用
- 風の子農園運営
- 障がい児保育の充実
- 子育て支援活動の推進と地域福祉の向上
- 食育指導の充実
- 同窓会育成のための組織づくりの促進
- 職員の資質向上

### 評価の基準

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組んでいるが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

## 3. 評価の項目と取り組み状況

自己評価項目		評価	取り組み状況
1	保育内容の充実	B	一人ひとりの発達や、家庭環境をとらえ、職員の共通理解をはかり保育に取り組んだ。 コロナ感染防止を行い、保護者の保育体験に取り組む事ができた。
2	地域社会資源の積極的活用	—	コロナ感染防止により、地域の方との交流、中高校生との交流等実施できなかった。 園外保育は、コロナ感染防止のため、3密を避ける対応をとり実施したが、限られた場所のみとなった。
3	風の子農園運営	A	野菜の栽培過程を観察し、さまざま変化に気づくことができた。また、育てた野菜を使って各クラスクッキングを行い、おやつを作って食べ収穫する喜びを感じることができた。

4	障がい児保育の充実	発達過程や障がいの状況を把握し、適切な環境の下で、他の子どもとの生活を通してともに成長できるようにする。	B	市発達支援センター、幼児教室、その他の専門機関の方々と発達について詳しく情報交換ができた。 発達支援センター、保護者、園と話し合いを積極的に行い、連携して保育を進めることができた。
5	子育て支援活動の推進と地域福祉の向上	育児相談や一時預かり保育を実施することで、地域の子育て支援活動の推進に努める。	C	クラスだよりに、子育てのワンポイントアドバイスを掲載することで、子どもの発達を知らせよう務めた。 一時預かり保育は、コロナ感染への対応もあるのか、利用の問い合わせはあるものの、実際の利用は少なかった。
6	食育指導の充実	「食を通じて家庭、仲間や地域社会とのかかわりを深め、子どもの健やかな心と身体の健全育成を促す」ことに位置づけ、一人ひとりの「食を営む力」を豊かに育む。	B	畑で育てた野菜を使って各クラスクッキングを行い、おやつを作って食べ収穫する喜びを感じることができた。保護者には、子ども達に人気のメニューレシピを文化祭で紹介し、保護者の子育て支援につなげた。
7	同窓会育成のための組織づくりの促進	「心のふるさとづくり」として同窓会を育成するため、学童保育や行事案内参加を促しながら卒園児との交流を深めていく。	—	コロナ感染防止により、卒園児への行事参加案内をすることはできなかった。
8	職員の資質向上	地域住民に信頼される保育実践とそれを支える力量をもった保育者を目指す。	B	コロナ感染防止により、地域の方と接する機会が持てなかった。 ICTの活用が定着し、書類の作成等業務の効率化につながった。 キャリアアップ研修に積極的に参加し、研修を深めた。